

# 決算説明資料

2017年3月期第2四半期



Listed Company 4241

2016年11月  
株式会社アテクト

# 第2四半期業績概要

(単位:百万円)

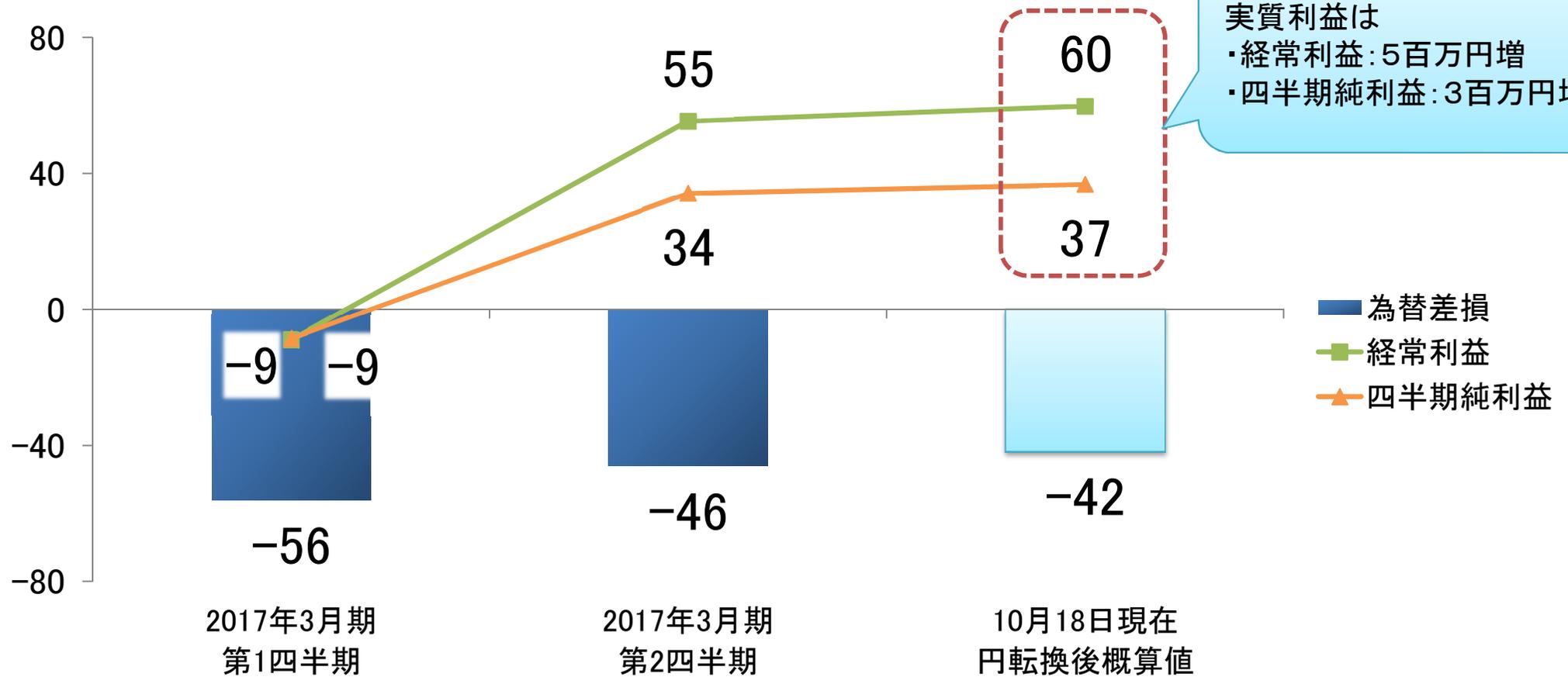
|                      | 2016年3月期<br>第2四半期 | 2017年3月期<br>第2四半期 | 増減額 | 増減率    |
|----------------------|-------------------|-------------------|-----|--------|
| 売上高                  | 1,250             | 1,222             | -27 | -2.2%  |
| 営業利益                 | 152               | 95                | -57 | -37.8% |
| 経常利益                 | 82                | 55                | -26 | -32.5% |
| 親会社株主に帰属<br>する四半期純利益 | 62                | 34                | -27 | -45.1% |

27百万円の減収、営業利益57百万円の減益となりましたが  
経常利益及び四半期純利益は黒字に転換しました。

※第1四半期で計上した為替差損56百万円は、当第2四半期連結累計期間においては、  
46百万円まで圧縮しました。

# 為替差損＋經常利益 推移

(単位:百万円)

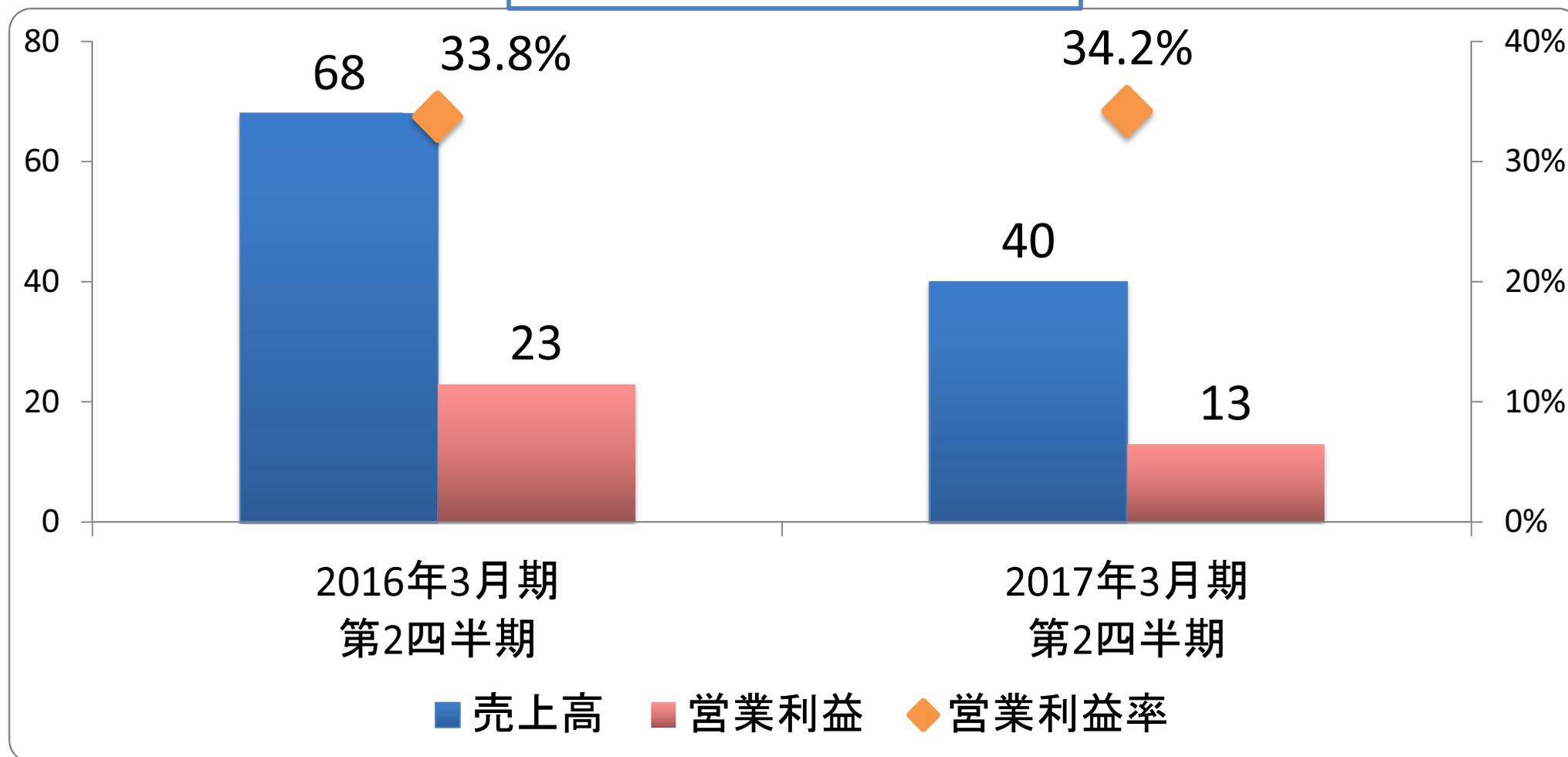


- 第1四半期に計上した56百万円の為替差損が第2四半期決算日レート適用で46百万円の評価損まで圧縮されました。
- 2016年10月18日現在、保有する外貨建て預金の72%分を円転換し、更に為替差損は圧縮しております。

# セグメント別業績：PIM事業

(百万円)

40.5%減収・39.7%減益

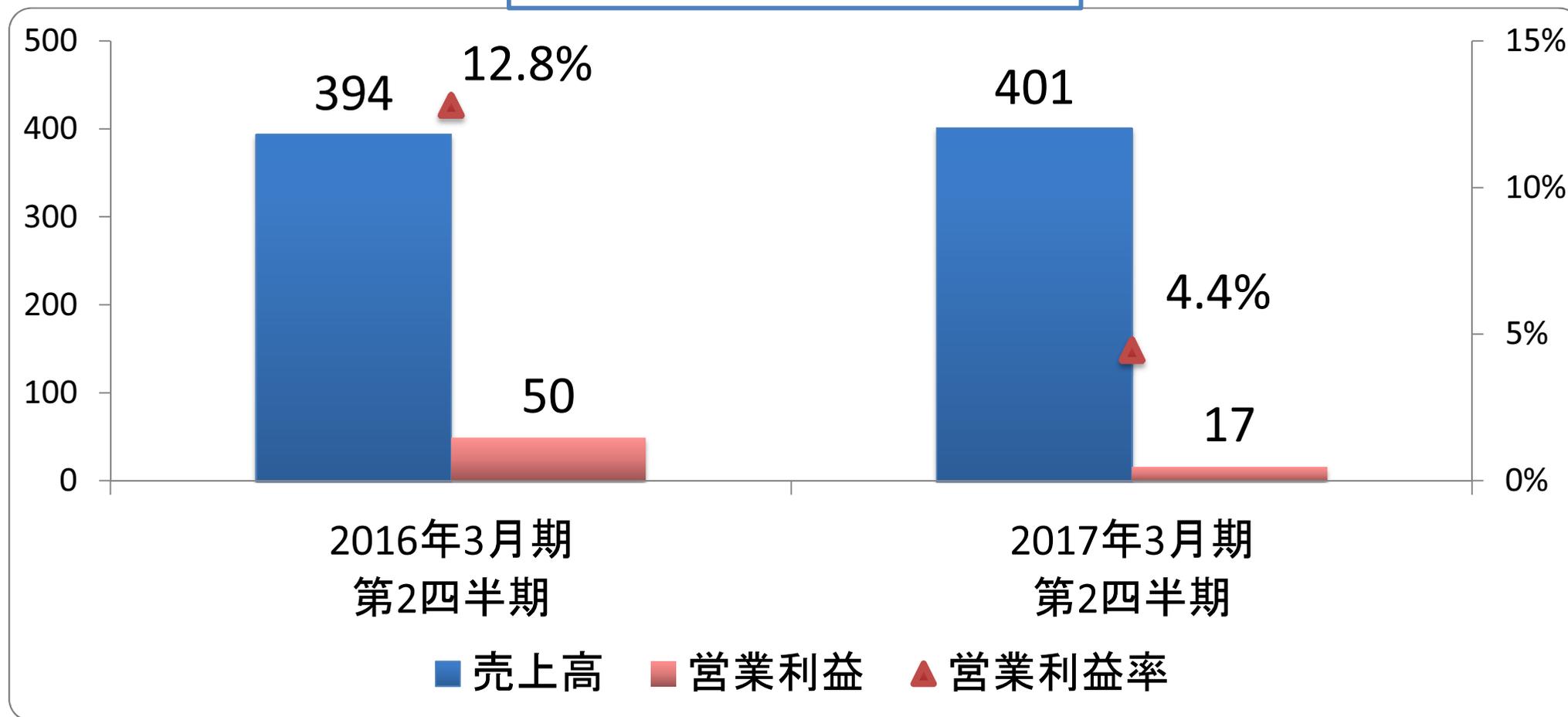


材料販売抑制(将来の製品市場での競合を避けるため)により初の減収減益となりましたが、高収益体質は維持しております。

# セグメント別業績：半導体資材事業

(百万円)

1.8%増収・64.6%減益



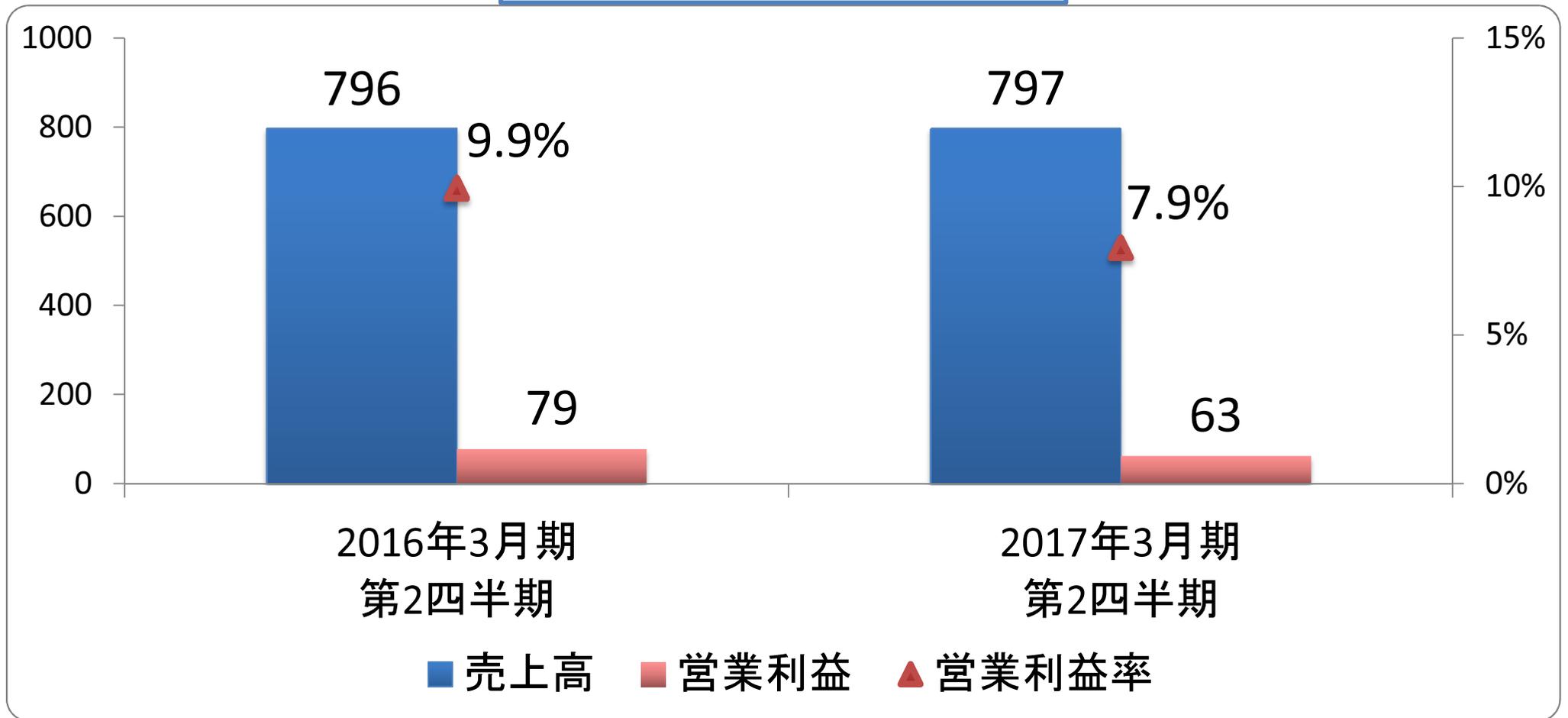
4Kテレビの普及率拡大、携帯電話への当社スペーサーテープの採用などが始まり、出荷数量は第2四半期単独では前年同期比21.8%増となりましたが、円高によりやや増収、大幅な減益となりました。

# セグメント別業績：衛生検査器材事業

atect

(百万円)

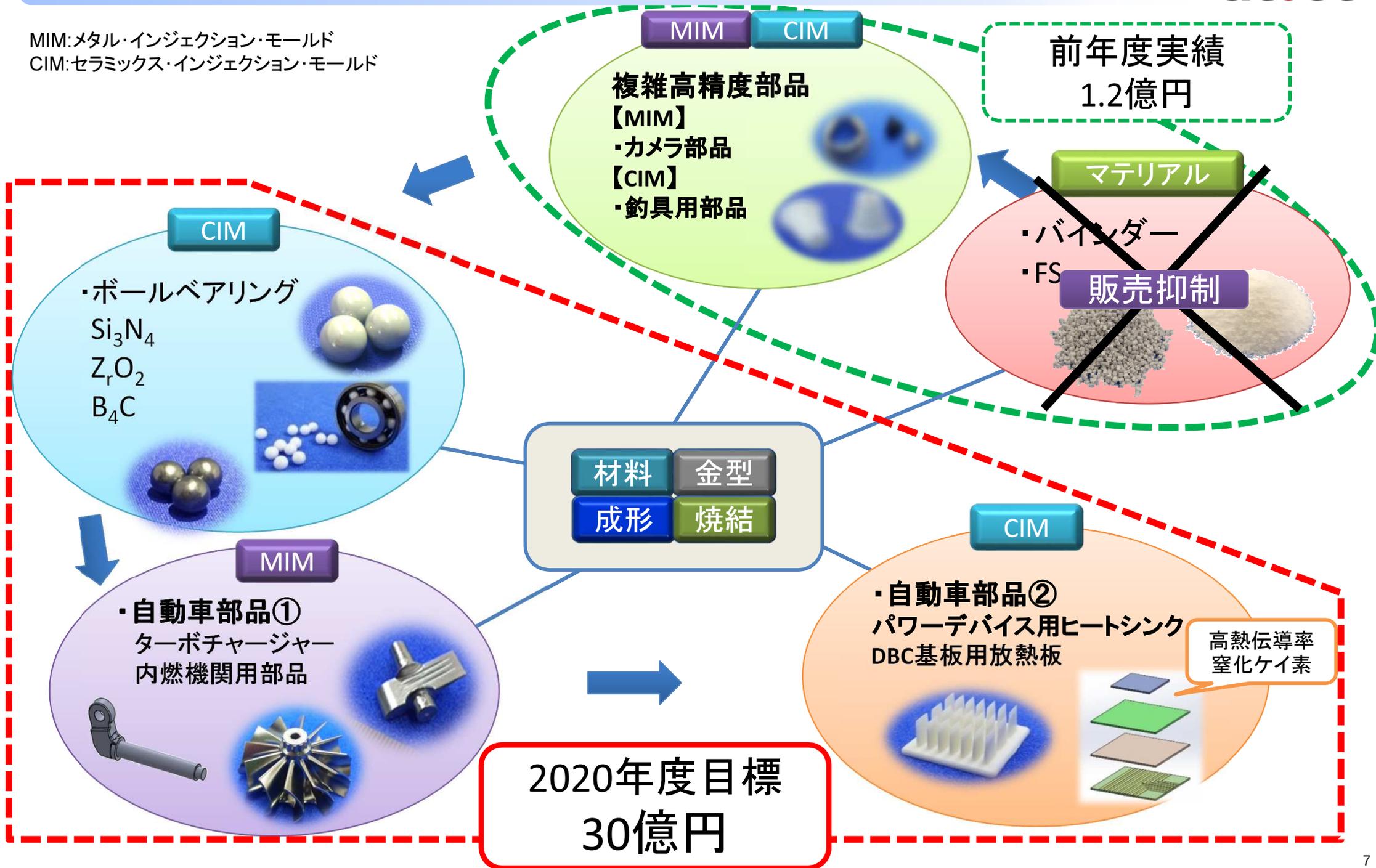
0.03%増収・20.1%減益

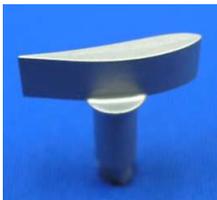


第2四半期累計では過去最高の売上高、総利益額となりましたが、当社グループにおける将来の事業活動を加速させるための販管費の増加により、やや減益となりました。

# PIM事業: 拡大サイクル

MIM:メタル・インジェクション・モールド  
CIM:セラミックス・インジェクション・モールド



| ターボチャージャー関連部品 |  | 材質・適合エンジン                                       | 当社PIM技術の優位性  |
|---------------|--|---|--|
| ノズルベーン        |   | 耐熱ステンレス合金<br>(HK30)<br>ディーゼルエンジン用<br>~700°C     | 主流となっているロストワックス(精鑄品)や他社MIM品に対し、当社PIM工法による量産技術により低コスト・高品質を実現  |
|               |  | ニッケル基超合金<br>(インコネル713C)<br>ガソリンエンジン用<br>~1000°C | 今後、急速に拡大が予測されるガソリンVG (Variable Geometry)化への対応<br>当社PIM工法でインコネル713Cでは世界初となる量産化技術を確立                     |
| ウェイトゲートバルブ    |   | ニッケル基超合金<br>(インコネル713C)<br>ガソリンエンジン用<br>~1000°C | HK30(ステンレス)からインコネル713Cへのシフトが加速(=高温化)<br>精鑄品における、2次加工(※難削材)のコストアップを当社PIM工法によるニアネットシェイプ(仕上げ作業を極限まで削減)で解決 |
| タービン動翼        |  | チタンアルミ合金<br>次世代ターボエンジン用<br>1000°C以上             | 1000°C以上の耐熱強度、インコネル713Cの半分の重さとなるチタンアルミ合金を開発中、次世代ターボエンジンとして期待   |

## ●排気系耐熱部品

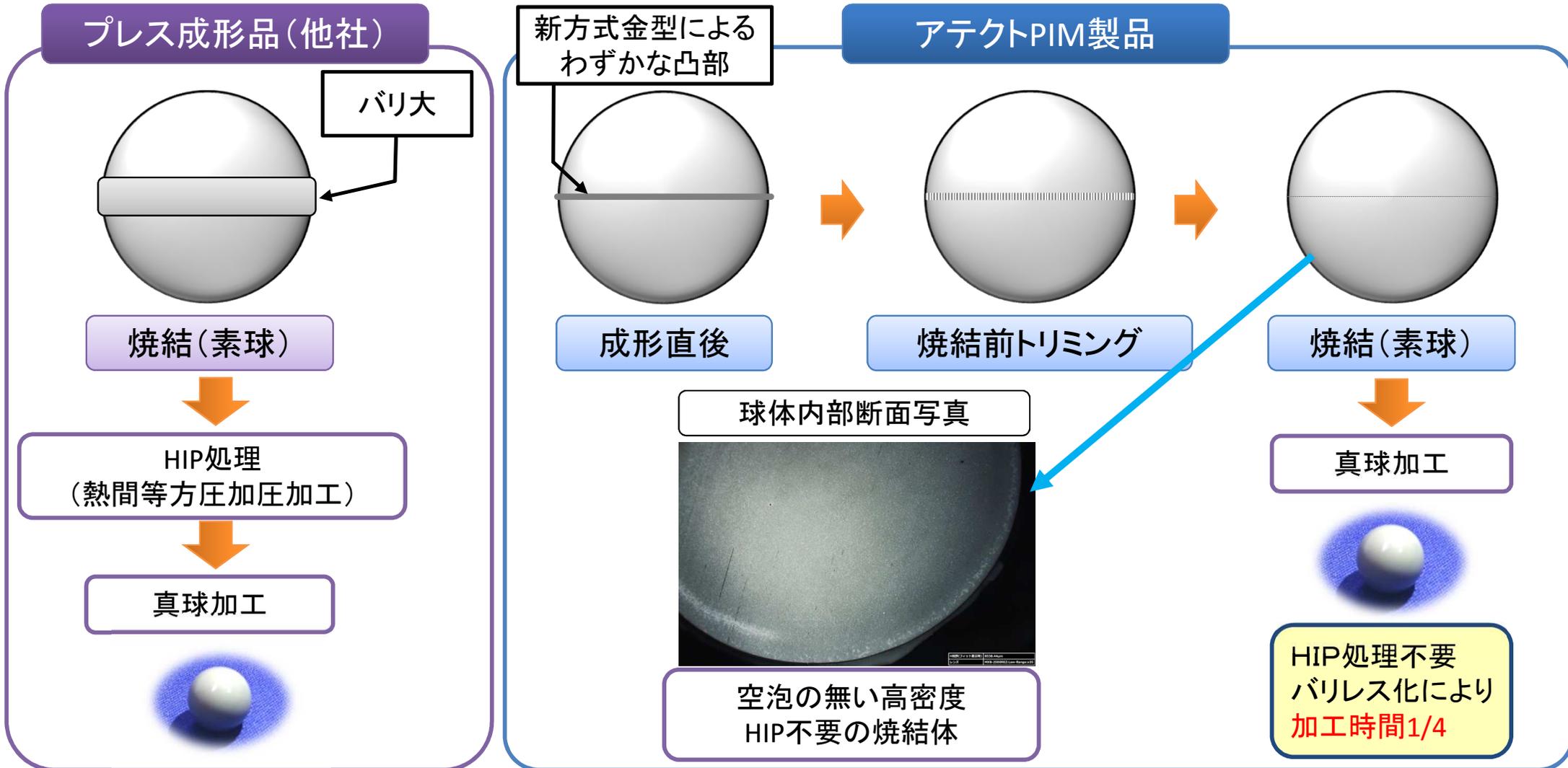
・耐熱ステンレス合金(HK30)⇒ニッケル基超合金(インコネル713C)化へ  
~タービン動翼の周辺パーツの耐熱性向上⇒更なる低燃費とドライバビリティの向上~

## ●高精度・低コストへの対応

・従来工法である精密鑄造+切削⇒PIM工法へ  
~アテクトPIM工法によるニアネットシェイプを実現。高品質・低コスト~

# 48期事業別施策【PIM】 ②セラミックスボールベアリング進捗

## アテクトPIM工法におけるセラミックスボールベアリングの優位性



- 空泡(ポア): サイズおよび個数を、大手ベアリングメーカー4社と製品グレード別に取り決め、開発中
- バリ: 全自動生産システム設計完了、滋賀工場にて本格稼働予定

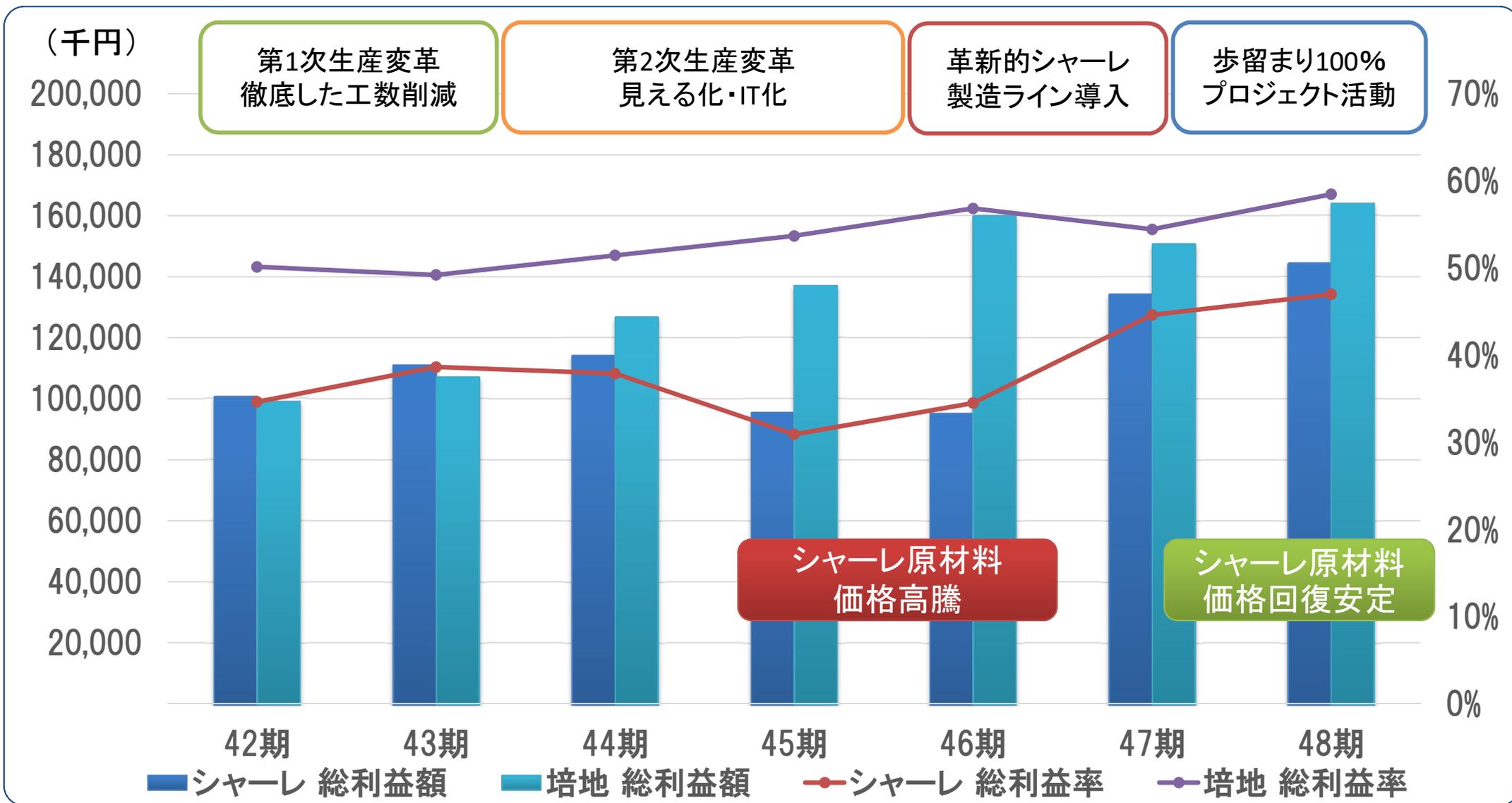
### 半導体資材事業

- 4Kテレビの普及拡大、携帯電話への当社スペーサーテープの採用
- 韓国、台湾顧客との為替連動型売価設定の合意⇒2016年9月以降実質値上げ
- 韓国工場にウエイトを置いた生産体制へのシフト  
⇒通期の出荷数量は前年度比15.9%増加の見込み  
⇒総利益率42%⇒48%への改善を目指す!

### 衛生検査器材事業

- シャーレ製品の主原料であるポリスチレン材料価格の安定と生産変革活動の推進(総利益率:47.0%) ※過去最高を達成
- 培地製造における生産変革活動による省人化と歩留まり100%プロジェクト活動の推進(総利益率58.5%) ※当社製品の中でも群を抜く高収益率
- 顧客データの最適化によるテレマーケティングの更なる効率化。
- システムをアウトソーシング先へ展開 ⇒ 半期単独では最高の売上高を更新

# 衛生検査器材製品別総利益推移



シャーレ、培地共に過去最高の総利益額・総利益率を達成

# 新工場進捗

atect

9月末事務所棟改装・改築工事完了・10月より工場棟改装工事開始



事務所エリアの改装、改築は全て完了し、衛生検査器材営業のテレマーケティングがスタート。  
また、工場エリアの改築も年内完成に向け、予定通り進捗中。

## 免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

## 本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 事業管理部 IR担当

TEL:072-967-7000

E-mail:ir@atect.co.jp